

2020年10月1日

## 腫瘍内科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 切除不能消化器・原発不明NET G3に対する薬物療法の治療成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

奥山 浩之 香川大学医学部附属病院 がんセンター 講師

この研究は、香川大学を主幹施設とする多施設共同研究として行います。

[研究の目的]

切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3と診断され、薬物療法を施行された患者さんを対象とし、薬物療法の効果や経過について調査することで、どのような治療が行われてきたかについて検討します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

切除不能消化器・原発不明神経内分泌腫瘍グレード3と診断され、薬物療法を実施した方で、2011年1月1日から2019年12月31日の間に、腫瘍内科及び下記研究組織に通院・入院された方

○利用する検体・診療情報

検体：腫瘍組織

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、症状、薬物療法前の治療歴、検査結果(血液検査、画像検査)、腫瘍の状況(腫瘍量、病期、組織診断の結果)、診断方法、治療経過

[外部への検体・診療情報の提供]

利用する本学所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で下記の施設へ提供します。

国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

[外部からの検体・診療情報の提供]

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で下記の研究組織より本学へ提供されます。

[研究組織]

日本肝胆膵がん関節研究検討部会参加施設

石川県立中央病院	辻 国広
大阪国際がんセンター	高田 良司
岡山大学病院	堀口 繁
香川大学医学部附属病院	奥山 浩之
神奈川県立がんセンター	小林 智
金沢大学附属病院	寺島 健志
がん研究会有明病院	古川 貴光
杏林大学医学部	岡野 尚弘
近畿大学	鎌田 研
国立がん研究センター中央病院	佐竹 智行
国立がん研究センター東病院	宮澤 祥一
国立国際医療研究センター病院	小島 康志
埼玉県立がんセンター	清水 怜
四国がんセンター	浅木 彰則
聖マリアンナ医科大学	梅本 久美子
兵庫県立がんセンター	津村 英隆
福島県立医科大学	浅間 宏之

[研究代表者]

香川大学医学部附属病院 がんセンター 奥山浩之

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 がんセンター 担当医師 奥山 浩之

電話 087-891-2081 FAX 087-891-2296